

社会福祉法人ぐんぐん 地域で豊かに暮らすために.

ぐんぐん後援会会報

< 発行者 >

住 所 高崎市足門町1397-4
電 話 027-381-6100
FAX 027-381-6657
会 長 福田 哲夫
事務局 学童クラブぐるりんば内



1. ご挨拶

後援会長 福田 哲夫

ぐんぐん後援会並びに地域の皆様こんにちは。後援会長の福田哲夫です。ぐんぐんの地元である足門町の住人で教員を退職してから米作農家として耕作依頼されたものがほとんどなのですが全部で21枚、広さにして3町歩の田圃を耕作しています。今年は町内会の役員となり毎日が結構多忙です。

社会福祉法人ぐんぐんも12年目となり、この春より榛東村に新たな施設「あおば」が開設され活動が始まりました。わが後援会も

- ①地域の皆様からのご理解とご協力をいただく輪を広げる活動
- ②保護者の皆様の安心につながる「子供たちの老後の安心」の出来る施策を求め、充実させる活動
- ③通所施設の拡充・定員を増やすための施設の開設を目指す活動

を意識しつつ、地道に後援会員や法人会員・賛助会員の拡大をはかっていきましょう。また本年も販売活動やぐんぐん祭りも取組みますので、後援会の皆様のご支援のほどをよろしく願いいたします。

ところで米作りを取り巻く状況は年々厳しいものとなっています。世界中ではコメの持っている食料としての優秀性からコメを主な食料とする人の人口が増えてきているように思われるのですが、わが国ではコメの需要が減ってきているのです。食料としてのコメはインディカ米とジャポニカ米の2種類しかありません。ジャポニカとはまさにわが国の名前です。日本の名前が付く作物を世界の人たちは欲しがっているのに、わが国においてはコメ離れが進行しているのが現状です。とても不思議なことです。私の家では1日3回の

食事でコメを7カップほど炊きます。約1.1kg程です。1年間で400kgぐらいになります。家族は3人ですから1人当たり130kgぐらいを1年間に消費していることになります。量が多いと思う人がたくさんいますよね。たしかに昨年あたりのわが国での米の消費量は7~8百万トン程度のものなので国民1人当たりになると1年間に60kg弱となりますから本当にその2倍も食べているのです。でも詩人宮澤賢治が死後に残した手帳の中に書かれていた「雨ニモマケズ・・・」の中に詠まれていた「コンナ人二私ハナリタイ」という人物は1日に「玄米ヲ4合」食べているのです。質素な生活をするコンナ人が食べるコメの量が1年にすれば210kg以上となります。実はこの量がカロリー数から考えた成人男子の平均的な主食としてのコメの消費量なのです。女性や子供・老人はここまではいかないとしてもコメを主食とするならば1年間に1人当たり150kgぐらい、その30%を麦（パンや麺類）で代用するとしても国全体では12~15百万トンのコメが必要なはずです。

縄文時代に渡ってきたコメ作りの技術がわが国で開花し生産技術が向上してみんなで協力して米作りをする共同社会—ムラ（村、邑）を作ってきました。ゴハンが私たちの文化や文明を支えてきたともいえると思います。ゴハンという言葉はコメを炊いたものを指すのみでなく食事一般を表わしたものとして使われているほどわが国におけるコメの地位は高かったのです。わが国の別称としての「瑞穂^{みずほのくに}国」の瑞穂というものはコメそのもの、わが国は「コメの国」と呼ばれていました。現在の日本はちょっとおかしいんじゃないかなと思います。外国のコメを買うからコメは足りる、なんていう考えは日本の農業をなし崩しに壊してしまうことに結びつくものでしょう。日本の米は高いから 外国産の米を買う方が消費者にとれば有利になる。との意見がありますが本当に高いのでしょうか。

今年の夏は暑くなりそうですね。サクラの開花が早い年は猛暑だといわれています。でも今年も私は暑さに負けないよう頑張って米を作ります。糯米^{もちめ}を作ってぐんぐん祭りに出します。ぜひ食べていただきたいな。

榛東村のPR

群馬県榛東村は、ブドウが夏場は盛んです。毎年多くの人で賑わいます。あおば事業所の周りは、一面ブドウ園に囲まれています。ぜひ、皆さま、榛東村にお立ち寄りの際は、近隣のブドウを買ってください。将来的にあおば事業所でもブドウの栽培など計画出来たら、嬉しいですね。まずは甘くて美味しい榛東村のブドウ、是非宜しくお願いします。また、サイクリング好きには空気も美味しいし、のどかで本当に良い場所です。

自衛隊方面

井戸尻

至 やすらぎの湯



3. JKA 補助金の内示

公益財団法人 JKA 様より補助金を頂くことになり、
榛東村あおばの隣に、さらに来年度、奇跡的に
10名の増員が出来る事になりました。念願だった
多目的室も整備予定で、ちょっとした室内の運動場所も
確保できそうです。

高崎市足門町ぐんぐんと合計すると全体で40名の方が
利用可能となります。利用者される皆様がほっと出来る
場所であるよう役職員一同頑張っています。(安田)



第4回 ぐんぐん祭り (予告)

今年も下記の日程にて

“第4回 ぐんぐん祭り”を開催いたします。)

皆様のおかげで、昨年度も好評を博しました。

今年度も是非、ご参加、ご協力をお待ちしております。

日 時 平成28年11月12日(土) 12:00~15:00

場 所 社会福祉法人ぐんぐん 敷地内

内 容 ぐるりんぱの子供たちの音楽発表

その他サークル依頼中

ミニバザー・喫茶コーナー等企画

問合わせ 中林 (027-381-6100)

主 催 (社福) ぐんぐん

共 催 保護者会・後援会



平成27年度決算報告

昨年度皆様から頂きました会費と後援会の事業計画の収支を下記のようにご報告申し上げます。

ぐんぐん後援会

〔収入の部〕		〔支出の部〕	
項目	決算額	項目	決算額
前年度繰越金	789,046	ぐんぐん へ寄付	900,000
会費収入	314,000	物品寄付	20,300
事業収入	660,105	通信費等	39,205
雑収入	4,930	次年度繰越金	829,100
利息	224		
合計	1,768,305	合計	1,768,305

以上 ぐんぐん後援会 会計 芳野みず江

平成27年度ぐんぐん後援会の収支報告について、会計に関する関係書類等監査した結果、適正に処理されており、残高は預金通帳と一致していることを報告します。

平成28年3月17日 会計監査 中塚 美子

後援会の更新と入会のお願い

ぐんぐん後援会は、自閉症の方々とその周辺領域の障害をお持ちの方たちが、地域で、安定して豊かに自立して暮らすために、個々にあわせてサービスを提供する、「社会福祉法人ぐんぐん」のバックアップ団体です。

年会費	個人会費（賛助会費）	1 □	1,000円
	個人会費（正会員）	1 □	3,000円
	団体会員	1 □	10,000円

ぐんぐん後援会にご理解ご協力くださる方は、下記の郵便振替でお願いいたします。

（会費は原則として毎年1回納入をお願いいたします。）

郵便振替加入者名 社会福祉法人ぐんぐん後援会

加入者番号 00120-9-389940

お問合わせ先 ぐんぐん後援会事務局 中林まで TEL:027-381-6100(ぐるりんば内)

5. 編集後記

保護者有志から始まった運動が、皆様に支えられて職員数も 60 名弱と規模が大きくなりました。社会福祉法も一部改正され、世の中は、事業所単位ではなく、法人単位で機能が出来ているかを精査される時代となり、特に経営面は顕著で、余剰金は積極的に新規事業を法人として考えさせる仕組み、世の中のために早急に使いなさいという制度に変わります。近い未来には、障害分野も高齢分野も選別せずに、同じく福祉事業者が担う世の中になるのかもしれない。

社会福祉法人ぐんぐんは、これからもニーズに応えるために必要な事業は展開をしてまいりますので、宜しくお願いいたします。